

## 講師ご略歴

昭和 25 年 10 月 12 日生 東京都在住

昭和 50 年 東京歯科大学卒業

歯科保存第三講座助手、講師、助教授を経て

平成 4 年 千葉県立衛生短期大学 歯科衛生学科 助教授

平成 21 年 千葉県立保健医療大学 歯科衛生学科 准教授

平成 28 年 東京歯科大学千葉病院 総合診療科 臨床教授

東京歯科大学歯科衛生士専門学校 非常勤講師

東京都歯科医師会附属歯科衛生士専門学校 非常勤講師

宮城県立歯科医師会附属歯科衛生士専門学校 非常勤講師

ヘルスカウンセリング学会 常任理事 理事長

日本歯科保存学会 評議員 保存治療専門医 指導医

## 抄録

安全・安心な医療を提供するためには、医療者と患者との信頼関係の構築が重要なことは周知の事実です。信頼関係は、お互いを理解すること、すなわち相互理解がなくては成り立ちません。しかし、初めて会った人と良い関係性を構築することは簡単ではありません。相手はどのようなことを思っているのでしょうか、また、対応している自分の心の中にはどのような気持ちや感情が生じているのでしょうか。相手の言葉や行動にともなう気持ちや感情を理解し、相手の期待している事柄を明確化することができれば対応がやり易くなります。

私たちの心の中には、日々の生活で色々な出来事に遭遇することで種々な感情が生じます、しかし、強い衝動を感じなければ意識せずに過ごし、感じていても我慢をしたり無意識を装ったりしているのが現状です。

この度の講演では、言動に伴う感情を認知する方法を知ることによってストレス対処法に役立てて頂きたいと思います。